

企業は新型インフルエンザにどう備えれば良いか。

新型インフルエンザ感染者が、ついに東京で確認されました。今後の拡大時には、「4割程度の欠勤者」「取引先の休業」「物流・交通機関の停滞」なども予想されます。過度に恐れる必要はありませんが、現時点で、企業としてどのような対策が必要かを、お伝えしていきます。

1. BCP (Business Continuity Plan) = 「事業継続計画」とは？

企業が自然災害や新型インフルエンザの大流行などの緊急事態に備えて、「緊急時に継続させるべき事業はどれか?」「縮小や休止が可能な事業は何か?」「事態の早期復旧をいかにすべきか。」「社内の誰がどのように緊急事態に対応するか?」などをまとめておくことです。策定には時間がかかりますが、企業の体質強化には意義のあるものです。

2. 現時点で、企業として何をすべきか。

- ① 感染防止のための物品の準備…品不足となる前に早めに購入してください。
 - ・ 不織布製マスク（サージカルマスク）…1人あたり8週間分（約50枚）
 - ・ 速乾性の消毒用アルコール…8週間分
 - ・ 体温計…必要量
- ② 感染を避けるために
 - ・ 従業員の健康管理の強化…検温・人込みを避ける・不要な外出の抑制・社内換気
マスク着用・満員電車を避ける・咳をしている人から離れる。
 - ・ 手洗い、うがいの徹底…外出後、石鹸をつけて手指を15秒以上行う。消毒もする。
 - ・ 咳、くしゃみエチケット…する時に、口と鼻を押さえたり、人から顔をそむける。

3. 東京で感染者が増加したら何をすべきか。

もちろん、現時点から行くとより望ましいです。

- ① 来訪者管理の徹底…来社時に検温して、体温38℃以上の人は立ち入り制限する。
- ② 社内での「対人距離」の確保…2メートル以上の距離を保つ。
- ③ 出張や外出の抑制・中止…不要不急な出張や外出は抑制・中止する。
- ④ 会議の抑制・中止…行う場合も短時間・マスク着用で実施。お互いに離れる。
- ⑤ 時差出勤・自家用車・自転車・徒歩による通勤…混雑した電車を避ける
- ⑥ 在宅勤務…会社にいる必要がある人は職場内等での宿直も検討する。
- ⑦ 自宅待機…本人や家族に症状が出たら、会社を休ませる。

4. 詳細について

中小企業庁のHPが参考になります。「中小企業 インフルエンザ」で検索（yahoo）すれば、トップに出てきます。また、当所からも必要に応じて続報をまいります。

以上